

平成25年12月議会定例会は、12月6日から13日の日程で開かれました。一般質問は10日と11日の2日間行われ、8人の議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。議案審議は13日に行われ、提出された6議案は全て原案どおり可決されました。



今議会で可決された議案等の概要

(紙面の都合で内容は一部省略しています)

平成25年度 一般会計補正予算

既定予算の総額に、3億8457万1千円を増額し、歳入歳出予算の総額を70億5866万9千円としました。

歳出の主な内訳は、議会費・総会費△661万3千円、総務費・総務管理費3億1626万4千円、徴税費247万7千円、民生費・社会福祉費△842万5千円、児童福祉費290万3千円、衛生費・保健衛生費・284万9千円、農林水産業費・農業費1190万4千円、商工費・商工費840万円、土木費・道路橋梁費2251万8千円、教育費・教育総務費・2097万7千円、中学校費488万2千円、幼稚園費611万円、社会教育費△459万7千円、保健体育費183万1千円などです。これらを賄う財源として、地方交付税、国庫支出金、県支出金、寄付金、繰入金、繰越金等を充当するものです。

平成25年度 国民健康保険 特別会計補正予算

既定予算の総額に、141万9千円を増額し、歳入歳出予算の総額を13億5128万4千円としました。歳出の内訳は、人件費の増額補正です。

平成25年度 介護保険特別会計補正予算

既定予算の総額に、8394万4千円を増額し、歳入歳出予算の総額を10億2762万7千円としました。歳出の内訳は、3年に一度の介護保険料改定に伴い、特別会計を安定化させるための基金積み立てと、居宅介護サービス利用等の増加に伴う増額補正です。

平成25年度 後期高齢者医療特別会計補正予算

既定予算の総額に、154万4千円を減額し、歳入歳出予算の総額を2250万3千円としました。歳出の内訳は、広域連合納付金が確定したことによる減額補正です。

飯館村税条例の一部を改正する条例

軽自動車税の納税通知書発行までの期間を十分に確保し、異動を正しく反映させるために、これまでの4月11日から4月30日までの納期を、5月11日から5月30日までに一か月延ばす改正です。

飯館村延滞金の割合等の見直しに伴う関係条例の整理等に関する条例

国税の見直しに合わせて地方税法に係る延滞金の利率を引き下げることとなったため、地方税との均衡を図るため村使用料手数料等の延滞金の割合を引き下げる改正です。

村長村政報告

(紙面の都合で内容は一部省略しています)

秋季検閲式

10月13日、村消防団による秋季検閲式を飯館村公民館前庭で挙行しました。当日は、村消防団員・女性消防隊など約100人が避難先から参加し、団員らは全村避難が続く村民の大切な財産を守ろうと厳しい雰囲気の中で検閲に臨んでいました。

村民ふれあい号

避難中の村民のストレス解消とお互いの親睦を深めるため、1泊2日で村民ふれあい号を実施しました。避難当初より職員を延べ39人も派遣いただいた群

復興計画第4版

9月9日から「第1回いいたてまでいな復興計画推進委員会」を開催し、計画策定の協議を始めました。第4版の策定に向けて、①村内復興の具体的整備計画、②復興会社の実現策、③村内復興住宅整備計画、④行政区計画と土地利用、⑤村民一人

関東方面避難者の集い

村は、これまで約9割近くの村民が避難している福島市や伊達市、相馬市、南相馬市、川俣町などで各種説明会や住民懇談会を開催していましたが、遠方の避難者からの要望を受け、11月11日に都内において、関東方面に避難された方々を対象に初めてとなる「関東方面避難者の集い」を開催しました。平日のため、参加者は20名程度でしたが、避難での苦労や、除染に対する不安や要望、村の情報に対する要望、懇談会を定期的に開催して欲しいといった要望が出されました。今後も、定期的に

可燃性廃棄物減容化施設

10月9日に運転期間、安全対策などを盛り込んだ確認書を国と取り交わし、事業が開始したところですが、村民から要望の多かった屋外の残置物についても、仮置場の見通しが立ったことと、回収が出来ることとなりました。

